

第30回 都中P広報紙コンクール（総評）

東京都中学校新聞教育研究会 会長
豊島区立明豊中学校
校長 小林 豊茂

広報紙コンクールに多数ご応募いただきありがとうございます。入賞されました学校をはじめ、各学校とも応募作品を拝見しますと、生徒の活躍や学校行事の様子等が、写真と共に紙面に掲載されており、PTAの皆様の中学校教育に対するご理解・ご協力の様子が伺われ、大変感謝申し上げるところです。私は、昨年引き続き審査をさせていただきました。どの紙面にも、生徒の学習や活動の活躍の姿が掲載されており、各校の広報紙を読み入ってしまうものばかりでした。各審査員も同様だったと思います。

最終審査で目を引く作品には、特集（企画）等での工夫がありました。新入学の保護者や生徒が気になる中学校3年間を見通した行事や学習の流れを図式化しながら紹介した記事や携帯（スマホ）等に関わることを自校の生徒の実態調査やアンケートに基づいて、適正な活用やリスク・危険に関わることの啓発・警鐘を促す記事など、誰が見ても関心を高めるものとなっていました。また昨年もありましたが、校長や会長のあいさつの掲載でも、ただ記事にただけではなく、インタビュー形式で親しみやすく紹介するなどの時間をかけた取材による紙面づくりもありました。

広報紙の発行には、広報委員会等で担当者が、年間の発行回数に合わせて企画や紙面構成を検討していることと思いますが、年々受け継がれる掲載内容があったり、掲載したいことが多いのに紙面に限りがあり、取捨選択に悩んだり、ご苦労もあるかと思います。さらに、取材が入って、時間的な負担も多いことと思います。しかし、その苦労いただいた分、生徒・保護者・地域の皆さん・教職員は、楽しく、興味深く、そして有り難く、広報紙を読んでいることと思います。

最後に、PTA活動の一層の充実のための要望として、また優秀な広報紙を作成している皆様をお願いとして、「PTA広報紙」に相応しい紙面充実にご協力願いたいことがあります。是非とも、PTAの皆さんが主体的に取り組んでいる活動を、各学校の生徒の様子や教育活動の最新の情報提供と同等に、広報紙の紙面を割いて、多く掲載していただきたいと思います。PTA活動の充実は、自校の大きな支援になり、学校の更なる活性化・発展に寄与するものであります。この点を、PTAが発行する広報紙でなければ、なかなか周知できません。学校だよりや学年通信等で紹介できない点ですので、ご理解・ご協力願います。